

ニュースレター No.15

発行：2002年2月

◆ちょうふ環境市民懇談会 第1回シンポジウム ～里山物語 開催決定！

ちょうふ環境市民懇談会第1回シンポジウムを2月23日(土)に開催します。この懇談会は平成12年11月12日に設立され1年以上がたち、市内の保全活動に取り組んでいます。ニュースレターや直接活動に参加され、ご存知の方も多いと思いますが、現在の活動は、調布に残された「里山」を中心に活動が進んでいます。

このシンポジウムでは、懇談会にかかわる活動の紹介のほか、『調布里山物語』と題して、懇談会設立と共に入間町の国分寺崖線の保全活動を行っている「入間・樹林の会」、市内で唯一湧水のみで耕作されている水田の援農活動「田んぼの学校」、そして子どもたちに遊びを通して調布の自然のすばらしさを伝える活動「野川・里山探検隊」をリレーで結び紹介していきます。市民の手づくりによる『調布里山物語』。少しでも、身近な自然、すばらしい調布の自然に目を向けるきっかけになればと思います。

◆プログラム◆

日時:2002年2月23日(土)

13:45~17:30

場所:たづくり12階 大会議室

参加費:無料(おみやげ付)

13:30 受付開始

13:45 シンポジウム開始

・ちょうふ環境市民懇談会の
プロジェクト紹介

・調布里山物語(60分)

・パネルディスカッション

17:30 終了

◆入間・樹林の会 今後の活動プログラム決定 毎月第3日曜日は「入間樹林の日」

昨年1月から始めた勉強会や調査活動など予定されていた活動が終了しました。これらの活動をふまえ1月18日(金)世話人会、27日(日)管理作業(P2参照)でこれからの活動について話し合った結果、今後1年間は、調査や観察会などを中心に右表の活動を行うことになりました。また、定期的に現地を観察するために、毎月第3日曜日は「入間樹林の日」として現地観察を行います。(詳しい内容はそのつど世話人会で検討のうえ実施します。)

今冬の間管理作業で、林の中が少し明るくなりました。これまで下草が少なかった林床にもきつと雑木林の野草が生えてくるはず！これからが楽しみです。

●ちょうふの自然

自然に親しむ人たちが増えてきました。私も、1月14日(月・休)に環境モニター活動の「冬の野鳥観察会」に参加。深大寺自然広場の林や野川沿いを散策しました。双眼鏡でのぞくと、雑木林のコナラや桜の芽がもう春を待つ準備が出来ていることに感動したり、いい時間がすぎていきます。野川でカワセミのベストショットを撮ろうと、えさをまいたり止まり木を仕掛けたりしている光景にでくわしました。気持ちはわからないでも無いのですがチョット違うのではないかと思いました。「自然の生き物たちの様子をチョットのぞかせもらうのが人間側のエチケット」と思うのですが、みなさんはどうお考えですか？



野鳥調査で発見したヒヨドリに食べられたキャベツ(佐須4丁目)

■今後の活動プログラム■

- 3月24日(日) 伐採樹の活用
- 4月 方形柵調査
- 5月 世田谷一調布・国分寺崖線歩き
- 6月 方形柵調査
- 7月 マテバシイ伐採
- 8月 夏休みの宿題教室
- 9月 方形柵調査
- 10月 NTT 樹林地の観察会
- 11月 落ち葉だめづくり、技能講習会
- 12月 リースづくり、芋煮会
- 1月 野鳥調査
- 2月 管理作業(落ち葉はき)
- 3月 活動のまとめ

←「ちょうふの自然」は、調布の自然を調べている環境モニターの記事です。

一 内 容

シンポジウム開催ほか

調布市内の活動報告

連絡会議議事要旨

イベント情報

(江刺益子)

調布市内での活動報告！

こどもエコクラブ

1月12日(土)に「そば打ち体験会」を行いました。今回の「そば打ち体験」は、そばを育てて食べるまでを子どもたちに体験してもらうために開催しました。

8月に各自宅でそばの種を蒔き、秋頃に収穫したそばの実を当日持寄り、石臼でひきました。子どもたちは石臼を使うのは初めてで、興味津々でした。

みんなで育てて石臼でひいたそば粉は少ないので、全員がそばを打つ体験が出来るように、北海道から取り寄せたそば粉を使って、そば打ちを行いました。

最後に打ち終えたそばをゆでて、みんなで試食しました。普段食べているそばより香りが良く「とてもおいしかった」と好評で、何度もおかわりをしていました。



雑木林塾 (連続講座)

1月20日(日)第4回講座。たづくりにて講義。午前には三島先生による「生態学から見た自然」。自然の法則を理解した上で自然とつきあう事の大切さ等学びました。

午後はビデオ「調布の自然」を見た後、小俣先生の「雑木林の生き物」。多摩で生育するホタルの話を中心に、遺伝子攪乱問題などにも触れました。参加者からは調布のホタルに関する疑問なども出され、今後の活動として市域の生き物の調査なども見えてきたようです。

環境モニター活動

連休末日の1月14日の午後1時開始。『野鳥調査』には不向きと思われる時間帯でしたが、設定コースが良かったのか〈深大寺自然広場・かに山〉でコゲラ(1番小さいキツツキの仲間)を観察。〈佐須田園地帯〉キャベツ畑を荒らすヒヨドリの群にびっくり、キャベツを食べ過ぎたヒヨドリが大量死したときいて、考えさせられることしきり。〈野川流域～大和田橋から箕和田橋〉中島橋の近くにいる筈のユリカモメがどこへいったか、カワセミも人出が多かったせいか残念ながら見当たりませんでした。マガモの雄についてまわっていたあの鳥は、合鴨ちゃんか？カワセミの写真を撮っている連中が川の中に餌箱を置き、餌付けしていたが度を越さないようにと思いつつ…

〔観察した鳥〕コサギ・マガモ・コガモ・オナガガモ・カルガモ・ハクセキレイ・キセキレイ・コゲラ・ヒヨドリ・モズ・ショウビタキ・ツグミ・シジュウカラ・メジロ・スズメ・ムクドリ・キジバト・ハシブトガラス・ハシボソガラス…以上19種

入間・樹林の会

1月27(日)に予定された第2回の現地管理作業は前日夜からの大雨にたたられ、作業は無理かと思われました。しかし、熱心な方はいるもので、9名もの人が入間地域福祉センターに集まりました。事務局は半ば中止との判断のようでしたが、管理作業はともかく、会の今後の活動の検討を行おうということで、会が始められました。1月18日の世話人会で検討された案では、1年間の活動が6つに分類されていました。樹林管理の技能講習や樹林のイメージを共有化するワークショップなどの学習会。方形枠の観察会、植生調査、イベントなどの利用、そして会の活動のメインとなる管理活動とその他広報などが提起されました。ユニークな提起としては、子どもたち(親かな?)の夏休みの宿題教室がありました。現地での活動日を毎月第3日曜日とすることも含めて、世話人会の提起が了承されました。11時を過ぎたころ、現地を見てみようとの声があり、雨の中結局マテバシイ1本を伐採しました。

ちょうふ DE 田んぼ日記その9「田んぼに春が来た」

オオイヌノフグリ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ。このあたりの春に咲く代表的な野草です。私たちの田んぼのあぜにはもう春が来ています。まだまだ寒い日が続くというのと、少し心配になります。田んぼでは、レンゲの若葉がその勢力を着々と伸ばしています。田んぼにくるとほんとうの春がもうそこまで来ていることが感じられ、なぜかうれしくなります。

1月12日(土)には佐須地域のどんど焼きが行われました。青年会の人を中心に、毎年盛大に行なわれていますが、調布でも数少ない貴重な伝統行事となっています。もちつきも行われて、来た人たちに振る舞われていました。このような機会に、地域の交流が深まるといいなという思いから、私たちも積極的に参加しています。

(野川で遊ぶまちづくりの会 尾辻)



第 15 回 連絡会議 議事要旨

●第 15 回連絡会議の議題

- ① プロジェクト等の情報交換
- ② シンポジウムに向けて
- ③ 来年度の活動に向けて
- ④ その他

日 時 平成 14 年 1 月 24 日 (木)
18:30~21:00
場 所 調布市役所 6F 第 5 会議室
出席者 9 名

◆連絡会議で話し合われた内容は…

1. プロジェクト等の情報交換

連絡会議はおもに情報交換の場として開催されています。このニュースレターの活動報告やイベント情報は、その時のものをまとめたものです。(どなたでも参加できます。)

2. シンポジウムに向けて

(1)これまでの経過

1 月 10 日(木)に全体会のプログラムの検討を行った。ここでは、①広報用にポスターを作成する、②全体会の位置づけとして会則に記載されている通り活動報告と運営委員選出を行う、③プログラムの枠組み、④入間・樹林の会、田んぼの学校、野川・里山探検隊をあわせて調布里山物語として紹介する、⑤全体会をシンポジウムと改名する、ことが決まった。

(2)プログラムの流れ

1 月 10 日に決定したプログラムの枠組みを再確認し、その内容について検討した。○内は概算時間を示す。

①オリエンテーション(30)

懇談会の説明やあいさつなど

②活動紹介(45)

プロジェクト等、連絡会議で交流のあった市内の自然環境保全に関する活動の紹介

③調布里山物語(60)

入間・樹林の会、田んぼの学校、野川・里山探検隊の活動を「里山」当テーマで一連の紹介を行う。

④パネルディスカッション(50)

調布里山物語を受けて、パネルディスカッションを行う。パネラーは、発表者の中から選出。(会場からの質疑もあり)

⑤運営委員選出(15)

基本的には、この指とまれ方式

⑥まとめ(10)

今後の進め方など

(3)その他

- ・開催時間は、プログラムと会場設営をふまえ、13:45~17:30とする。受付は13:30から。
- ・調布里山物語については、一連のたたき台を作成し、各活動が展開させる。
- ・現在の運営委員に継続の意志を事前に確認する。
- ・活動紹介で発表しない取り組みも模造紙等で活動の紹介ができる。また、パネルディスカッションの前にそれらの紹介を入れる。(3分間スピーチ等)
- ・入間町の伐採樹木を活用しておみやげづくりを進める。

3. 来年度の活動に向けて

今回は時間切れのため、次回の連絡会議にて検討する。

4. その他

- ・プロジェクト等に関わる会議の日程

日 時	場 所	活動名(主な内容)
2月1日(金) 18:30~20:30	市役所4階 第4会議室	雑木林塾 運営会議 次回の講座の内容や今後の活動計画について検討
2月4日(月) 18:30~20:30	市役所4階 第4会議室	環境モニター 世話人会 野鳥調査の反省や次回の連絡会の内容について検討
2月7日(木) 18:30~20:30	市役所6階 図書教養室	入間・樹林の会 世話人会 調布里山物語や作成中のパンフレット、今後の作業について検討
2月12日(火) 18:30~20:30	市役所4階 第4会議室	環境モニター 連絡会 調査の経過報告やガイドウォーク、春の調査について検討
2月14日(木) 18:30~20:30	市役所3階 第1会議室	環境市民懇談会 連絡会議 活動の情報交換やシンポジウムに向けて最終調整を実施
2月16日(土) 13:00~	市役所3階 環境保全課	調布里山物語 リハーサル それぞれの活動が作成してきた物語をまとめてリハーサルを実施
2月17日(日) 10:00~16:00	どんぐり林公園	雑木林塾 第5回講座 管理作業の続きや第6回講座に向けた準備を実施

絵っせい：窓からの風景

水田での農作業が天候、特に雨にいかにか左右されるか、12号の絵っせいでもふれましたが、去年は皮肉にも稲が生長する夏から雨に恵まれはじめました。おかげで野川の水量も例年になく豊かで、流れに入って遊ぶ子どもたちを、あちこちで見かけることができました。自然で生き物にあふれる水辺が、子どもたちはやっぱり大好きなのです。豊富な流れの源が、国分寺崖線沿いに湧く清水であることはご存知のとおりですが、一昔前となる平成3年秋の湧水の豊富さに次ぐものとなりました。当時、確認ができなかった「かに山」の湧水も観察されただけでなく、深大寺釈迦堂の階段脇からの湧水も観察されました。水が溢れる国分寺崖線、深大寺、用水、野川の心地よさは大切な財産です。しかし、10年の間に住宅地となった水田などでは、湧水口が塞がれたりしたため消失したものもあります。湧水は降雨量次第とはいえ、人の自然に対する態度に大きく左右されるのではないのでしょうか。



佐須の谷戸と稔りの秋

参加しませんか？

● 雑木林塾（第5回）（連続講座 全6回）

日時：2月17日(日)10:00～16:00

場所：午前 ドングリ林公園

午後 富士見地域福祉センター

持ち物：昼食、飲み物、軍手、筆記用具等

現地の観察、維持管理作業を行い、受講生が主催する雑木林塾のイベント計画、準備を行います。

● こどもエコクラブ～バードウォッチング～

日時：2月24日(日)9:00～12:00

集合場所：京王多摩川駅

● 野川・里山探検隊（雨天中止）

日時：2月24日(日)10:00～16:00

場所：野草園前・深大寺自然広場（かに山）

持ち物：昼食、飲み物等

ドングリ・まつぼっくり・果物など何でもOK！茶筒等蓋付きの缶に入れてお持ちください。焚き火による「簡易炭焼き」と木工（ブンボン）を行います。焚き火のおこし方、ナイフの使いかたの講習も。

※お申込み・お問合せ 環境部環境保全課まで

その他の情報

■環境講座

～身近な生活をとおして考えてみよう～

ひとりでは地球環境は守れません。身の回りの生活をとおして、暮らしの中でできることは何かをみんなまで考えませんか。

①2月7日(木)14～16時

大気(東京都環境学習リーダー 倉知 鉄雄)

②2月14日(木)14～16時

水(東京都環境学習リーダー 中原 義之)

③2月21日(木)14～16時

ごみ(東京都消費者啓発員 熊本 美彌子)

④2月26日(火)9～16時(昼食持参)

施設見学(ごみ焼却場、下水処理場)

場所：調布市北部公民館 第1・2学習室

定員：36名(申し込み順)

申込み・問合せ：北部公民館(TEL 0424-88-2698)

★ニュースレターは

調布市のホームページでもご覧になれます。

<http://www.city.chofu.tokyo.jp/>

yokoso/inform/kankyo/kankyo.html

または、調布市のホームページから[おしながき]→[環境]

■ メーリングリストをたちあげました！

ちょうふ環境市民懇談会では、日常的に情報の交換を行うためにメーリングリストを立ちあげました。

お問合せは尾辻(kp5y-otj@asahi-net.or.jp)まで

■東京YWCA 自然・環境連続講座

自然を友とするために -環境教育の推進-

日時：2月28日～3月21日の毎木曜

18:30～20:30

講師：三島次郎氏(桜美林大学名誉教授)

場所：東京YWCA会館(御茶ノ水より徒歩5分)

講習料：一般8,000円 学生6,000円(全4回分)

内容：(第1回)生物が作った地球/(第2回)どぶの中の自然/(第3回)雑草と呼ばないで/(第4回)フィールドトリップ

主催：東京YWCA 野外環境教育部

(TEL:03-3293-5466)

■生命の自然塾

-いつか母に・父になる人のための楽しいお産講座-

妊娠・出産を経験して、「お産ってなんて楽しいんだろう」とぞっこん「お産」に惚れ込んでしまった女性があります。その女性の体験談を中心に、お産のメカニズム、おっぱいの話、食べ物のお話、助産婦さんの話、パートナーとしてお産に立ち会った男性の感想など、盛りだくさんの講座です。2回目の講座では、実際に助産院の見学もします。きっと新しい発見がたくさん待っていると思います！ぜひご参加ください。●2/28 申込閉切

●各回¥2500 ●非妊婦対象(妊婦の方は要相談)

《第1回》3月3日(日)14:00～17:00

《第2回》3月24日(日)14:00～17:00

申込み・問合せ：アースマンシップ自然環境教育センター

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町 4-18-11

TEL/FAX 0422-20-8393

<http://www4.plala.or.jp/earthmanship/>

ちょうふ環境市民懇談会は、調布市内の自然環境を保全・改善・回復していくために、「話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動を、パートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。様々な環境保全活動にご協力いただけるボランティアを募集しています。

連絡会議へ是非出席してください。

●次回連絡会議 2002年2月14日(木) 市役所3階第1会議室 18:30～20:30

お問合せ先：調布市環境部環境保全課 小豆畑・倉林 TEL 0424-81-7086

発行：ちょうふ環境市民懇談会 E-mail: kankyou@w2.city.chofu.tokyo.jp

自然環境の学習や保全に関する情報を募集しています。また、様々なお便りも募集しています。